

# Archer® Audit Management

## はじめに

内部監査部門は、ステークホルダーが必要とする戦略的なリーダーシップ、組織的な保証、その他のサービスを提供するために苦心していますが、この作業は容易ではありません。2014年のPwC調査によると、経営幹部の半数以上は、内部監査が組織に大きな価値をもたらすとは考えていません。組織は、急速に変化する規制リスクとビジネスリスクのランドスケープに直面しており、内部監査戦略は、これらの変更に対応できない場合があります。さらに、内部監査は、通常はコンプライアンス機能なのですが、現在は、動的なリスク計画作成が、アプローチと結果に組み込まれていることが期待されています。

従来のアプローチ、ツール、専門技術は、従来の特定時点の静的な監査計画作成を中心に配置されています。複数のツールやシステムによる文書化が一元化されていない場合は、統合が困難になります。また、静的にレポートが作成されており、リスク、コンプライアンス、監査の各グループ間での目標の調整が不十分であることがよくあります。他のビジネス機能によって生成された所見の可視性が不足していると、すべての所見と修復作業のステータスの追跡が、内部監査にとって困難で時間のかかる課題となります。そして、これにより、監査委員会と経営幹部に必要なレポートの作成が、リソースと時間のかかるプロセスとなります。残念なことに、これらのレポートは、多くの場合、完了した直後には有効期限が切れます。

社内監査チームのリソースが少なくなるが、その責任は重くなる場合は、現在の監査アプローチを変更する必要があります。チームは、組織内で内部監査の価値の認識を変えようと努力しているため、監査への組織的なリスクベースのアプローチを採用して、このトランスフォーメーションを実装する必要があります。

## リスクベースのアプローチによる監査のトランスフォーメーション

現在の監査アプローチは、コンプライアンスに重点を置いており、プロアクティブではなく、リアクティブ（事後対応型）です。残念なことに、これは、新しいリスクとビジネスチャンスの評価を支援することにチームが集中できないことを意味しています。なぜなら、過去の統制のパフォーマンスの評価に、多くの時間が費やされているためです。リスクベースのアプローチを組み込み、リスクとコンプライアンスの機能を連携させることによって、リスクの適切なビューを、ビジネスや組織の統制で最も重要な領域の評価に統合することができます。これにより、戦略的なビジネスイニシアティブに集中し、組織にとっての監査チームの価値を強調することもできます。

これまでに、企業における内部監査の役割は、企業に影響を与えるイベント、リスク、規制に対応して変化し続けています。内部監査が事後対応型から、企業の戦略的ニーズに沿ったものに移行するには、さらに多くの時間を投資する必要があります。

John Tantillo、パートナー  
2014 State of the Internal Audit  
Profession Study, PwC  
2014年3月

## Archer Audit Management のメリット

Archer® Audit Management によって、監査のライフサイクルを完全に制御できるようになり、監査関連の作業のガバナンスが強化されます。同時に、お客様のリスクと統制の機能に統合することもできます。RSA Archer を使用すると、監査部門の効率を変革し、リスクを対象とした監査をより迅速に完了し、ビジネスと連携して組織の目標を達成することができます。

### 監査プロセスの自動化

静的文書で、またはビジネス、リスク、コンプライアンスの各チームと連携していないスタンドアロン システムで監査の計画や監査調書を管理すると、確実にコラボレーションの能力が制限されます。これらの異なるグループにわたり、監査の所見と結果を有意義かつ適時に収集して調整することは、手間のかかる手作業のプロセスであり、作成されるのは、特定時点の静的なレポートです。

Archer Audit Management を使用すると、監査プロセス全体（監査エンティティ、監査計画作成、エンゲージメント、所見）を1つのシステムに統合できます。監査のプロセスとチームを管理し、監査の人員、予算、リソースの割り当てを迅速にレビューできます。リアルタイムのダッシュボードにより、ギャップを特定し、監査計画を確実に達成できるようになります。

また、Archer で、所見の管理プロセスを合理化し、最も重要な問題に重点を置き、経営陣と監査委員会にとっての最重要事項を報告することができます。このテクノロジーは、他のリスクグループとコンプライアンスグループもArcherを使用していると、さらに強力になります。共同作業のステータスを伝達し、業務を活用する能力が向上するためです。

### リスクベースの監査計画の動的な調整

反復的なコンプライアンス主導の監査テストに、時間が費やされている場合もよくあります。その結果、規制当局、組織、経営陣にますます期待されているリスクベースの監査アプローチを実装する態勢が整っていません。

Archer Audit Management は、最新の内部監査人協会（IIA）基準およびトレッドウェイ委員会組織委員会（COSO）フレームワークに沿った、すぐに使えるベストプラクティスを提供しています。これらのベストプラクティスにより、リスクとコンプライアンスのステークホルダーと協力して、オペレーショナル リスクを共有し、データを制御することができます。その後、監査計画を調整し、組織のビジネスの優先事項と最新のオペレーショナル リスク評価に基づいて作業の優先順位を付けることができます。これらのリスクシステムと制御システムの統合により、リスクおよびコンプライアンス活動の優先順位付けと実行において、監査チームとその他のチームとの連携が促進されます。さらに、ビジネスの現状をより明確に理解でき、これにより、監査の計画と範囲設定が向上します。

### 耐リスク& コンプライアンスチームを 結集して、差し迫った問題に対処

監査チームは、他のリスクチームとコンプライアンスチームからの情報、リソース、結果を常に活用しているわけではありません。その結果、主要なリスクと標準以下の統制が十分に把握されていません。

調査回答者の80%以上が、内部監査の役割は、社内の報告と統制の妥当性を超えて、ビジネスが直面するその他の主要なリスクを含む必要があると回答しています。

2014 Global Audit Committee Survey。KPMG  
2013年9月

Archer Audit Management を使用すると、内部監査、その他のリスク チームとコンプライアンス チーム、または経営陣から提起されたすべての問題を1つの中央システム内に格納してカタログ化し、ビジネス ワークフローと、問題の重要性和修復ステータスの総合的なビューを、すべてのビジネス チームに提供することができます。内部監査は、他のチームによる統制テストやリスク アセスメントとリスク軽減を活用して、組織のリスクと統制の現在のステータス、品質、有効性をより適切に評価することもできます。同時に、監査委員会と、リスクおよびコンプライアンスのステークホルダー向けに、重要な結果をまとめて優先順位を付けることもできます。これにより、組織全体で透明性が向上し、より高いレベルの信頼が確立されます。

## ARCHER AUDIT MANAGEMENT

監査チームが過去の統制のパフォーマンスの評価に時間を費やしているために、新しいリスクと機会を評価する企業の支援に集中できないことはよくあります。Archer Audit Management を使用すると、リスクベースのアプローチをさらに組み込むことができ、リスクとコンプライアンスのビジネス パートナーとのコラボレーションが可能になります。さらに組織は、リスクの適切なビューを、最も重要な分野と統制の評価に統合できます。これにより、戦略的なビジネス イニシアティブに集中し、組織にとっての監査チームの価値を示すこともできます。Archer Audit Management には、お客様固有のビジネス ニーズや、監査の成熟を目指す行程の進行状況に対応したさまざまなユース ケースが用意されており、以下のオプションが含まれます。

### 問題管理

Archer Issues Management は、監査、リスク、コンプライアンスの各チームから提起された問題を管理するためのGRC プログラムの基盤を築きます。このユース ケースには、企業構造を確立するためのビジネス階層が含まれています。また、リスクとコンプライアンスの問題に対するアカウントビリティが強化されており、結果、修復計画、例外を管理して、リスクとそれに関連する解決策に対処するためのワークフローが提供されます。

Archer Issues Management を使用すると、すべての問題の統合ビューを作成できます。組織的で管理されたプロセスによる問題のエスカレーションにより、リスクと、リスクに対処して解決する作業について、詳細までまとめて把握することができます。問題、修復計画、例外の適切なサインオフと承認のワークフローによって、特定された問題が確実に管理され、軽減されます。組織は、新たなリスクに迅速に対応できるようになり、よりプロアクティブで耐障害性に優れた環境が構築されると同時に、コストも削減されます。

### 監査エンゲージメントおよび監査調書

Archer Audit Engagements & Workpapers を使用すると、監査のインテグリティと領域を定義し、監査エンゲージメントを実行することができます。また、監査調書を維持し、監査結果を、一貫性のある適時の方法で報告することができます。Archer Audit Engagements & Workpapers を使用すると、監査部門の効率を変革し、適切な範囲の監査をより迅速に完了し、外部監査費用を削減することができます。

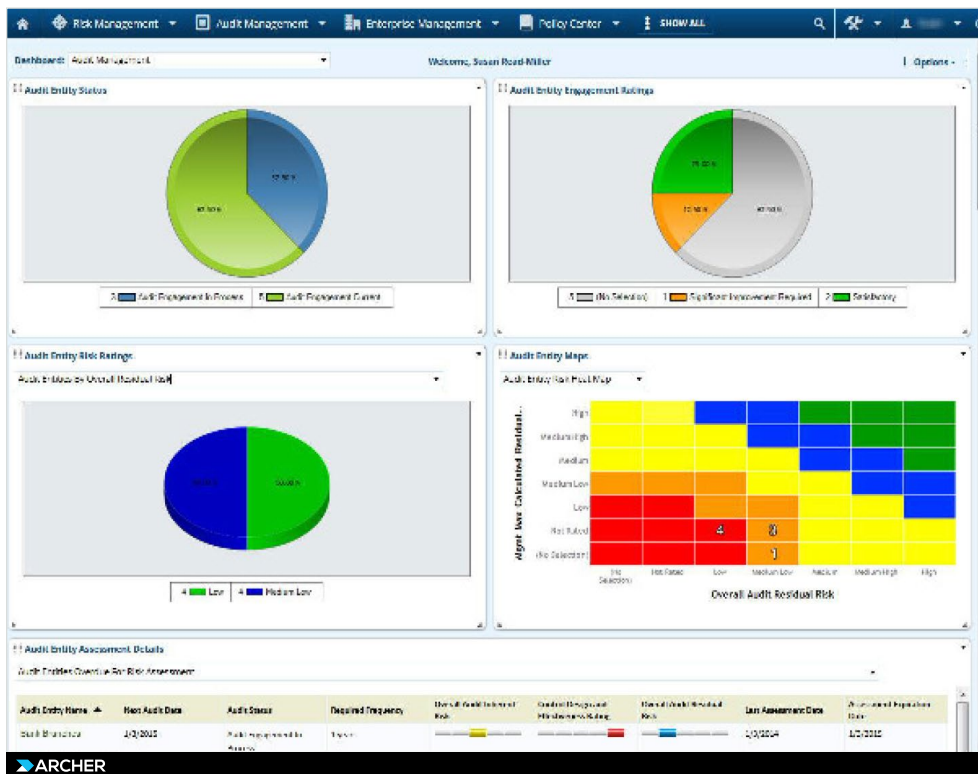


## 監査計画と品質

Archer Audit Planning & Quality によって、内部監査チームは、監査エンティティのリスクを評価し、今後1年間にエンゲージメントの監査計画を作成することができます。Archer Audit Planning & Quality で、リスク管理および統制の豊富な情報が統合されるため、内部監査が監査目標を経営陣、企業リスク管理グループ、その他の関連グループと確実に連携させることができます。さらに、ユースケースによって監査マネージャーが、監査チームを管理し、適切な担当者を監査エンゲージメントに配置することができます。Archer Audit Planning & Quality によって、監査機能の品質評価も実施され、監査関連業務のガバナンスが向上します。

## 結論

Archer を使用すると、ビジネスに合わせてリスクを実際に調整して、成長と収益増加の目標を経営陣が達成できるようにし、リスクに関する会話をパフォーマンスに関する会話に変えることができます。初期の進化からプログラムの成熟に至るまで、Archerよりも監査機能を効果的に活用できるツールは他にありません。



監査管理およびコンプライアンス管理ソリューションは、以前の評価に関する情報にアクセスし、進行中または完了予定の評価を管理するための一元化された自動化プラットフォームを提供して、組織の監査作業とコンプライアンス責任をサポートします。これらの製品は、全社規模のコンプライアンスイニシアティブをサポートするとともに、個々のマネージャーおよびデリバリーチームに重点を置いた評価によって、個々のビジネスユニット内のアカウントビリティの向上とより優れた業務慣例を促進します。

HCL Technologies

## Archerについて

Archerは、統合リスク管理 ( IRM ) ソリューションのリーディングプロバイダーであり、お客様の戦略的意思決定と業務回復力の向上を、ビジネスとITの両方の影響を主軸に行う定性・定量分析をサポートする近代技術プラットフォームにより可能にします。GRCソフトウェアの真のパイオニアとして、Archerは、従来の業務運営リスクからESGのような新しい問題に至るまで、お客様がリスクとコンプライアンスの領域を管理できるよう支援することに唯一専念しています。リスク管理業界で20年以上の実績を持つArcherの顧客基盤は、世界最大の純粋なリスク管理コミュニティの1つであり、Fortune 500企業の50%以上を含む1,200以上の顧客を有しています。

[www.ArcherIRM.com](http://www.ArcherIRM.com)

